

とくしま オーガニック情報

NPO法人徳島県有機農産物認証協会機関誌

第4号

徳島市かちどき橋1丁目41番地
徳島県林業センター4階
徳島県農業会議内
TEL 088-655-8368
FAX 088-655-8364

木屋平村有機栽培研究会、環境保全で大臣賞

木屋平村有機栽培研究会（天田善信会長、会員50戸）が、平成17年2月22日に第10回環境保全型農業推進コンクール（全国環境保全型農業推進会議主催、農林水産省など後援）で、農林水産大臣賞を受賞しました。同コンクールで県内の個人、団体が大臣賞を受賞したのは初めてです。会員50戸のうち9戸が、本協会から有機農産物生産行程管理者の認定を受け、会長の天田善信氏は本協会の第1号の認定者です。

このコンクールは、農業技術の改善や経営に意欲的に取り組み、農村環境の保全活動を通じて地域の発展に貢献している団体や個人が対象です。中四国など全国を8ブロックに分け、それぞれ大臣賞や優秀賞などを選んでいきます。

同研究会は「環境保全」と「安全・安心」をテーマに、平成13年3月に発足。22haでユズを栽培し、地域の鶏糞を堆肥に利用しているほか、食農教育（地元の小学生らとの体験交流会）、消費者交流（県政バスでの収穫・搾汁体験）、職業教育実践（農業高校の収穫体験学習）などに積極的に取り組んできました。



飯泉知事に大臣賞を報告した時の記念写真

1年間の活動記録

●理事会・総会

○第5回理事会

平成16年5月25日、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で第5回理事会を開き、①平成15年度事業報告並びに収支決算、②平成16年度事業計画並びに収支予算、及び平成16年度会費額並びに賦課納入、③内部監査報告、について協議しました。

○第4回通常総会

平成16年5月25日、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で第4回通常総会を開き、①平成15年度事業報告並びに収支決算、②理事の補欠選挙、③理事長の互選、④平成16年度事業計画並びに収支予算、及び平成16年度会費額並びに賦課納入、について審議しました。

この結果、議案①④については原案どおり承認され、②理事の補欠選挙については、多智花俊裕氏、佐藤俊博氏、市岡通裕氏が選任され、③理事長の互選については、多智花俊裕氏が選任されました。

総会終了後、徳島県生産流通課係長、宮本史典氏から「とくしま安²農産物認証制度について」の研修を受けました。



●格付担当者講習会

平成16年6月24日、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で有機農産物格付担当者等講習会を開き、受講・修了者34名に「修了書」を交付しました。

●生産行程管理者等講習会

平成16年6月24日、徳島市「ウエルシティ徳島厚生年金会館」で有機農産物生産行程管理者等講習会を開き、受講・修了者43名に「修了書」を交付しました。



●検査員・判定員研修会

平成16年11月25日と平成17年2月10日に徳島市「タウンホテル千代」で有機検査員・判定員研修会を開き、「実地検査（監査）報告書の作成と判定委員会のあり方について」研修しました。

●有機検査

平成16年4月28日・木屋平村、同年4月30日・木屋平村、同年7月14日・上勝町、同年8月4日・那賀川町、同年8月6日・上勝町、同年8月18日・鴨島町、同年9月9日・藍住町、同年9月10日・藍住町、同年10月7日・木屋平村、同年10月15日・木屋平村、同年11月3日・勝浦町、同年12月16日・美馬町、半田町、平成17年2月7日・吉野町、同年2月18日・土成町、の計14回有機農産物生産行程管理者、有機農産物加工食品製造業者の検査を行いました。

●有機判定委員会

平成16年6月14日、同年8月30日、同年9月16日、同年10月25日、同年11月25日、平成17年2月10日、同年3月28日、の計7回徳島市で有機農産物生産行程管理者、有機農産物加工食品製造業者の判定委員会を行いました。

●会員研修会

- 平成17年3月8日、本協会会員と本協会有機検査員・判定委員の合同の有機視察研修を実施し、31名が参加。本協会では有機認定を受けた木屋平村の有機ユズ栽培農家とJA美馬木屋平有機ユズ加工工場を視察研修しました。
- 平成17年3月22日、徳島市「徳島プリンスホテル」で「クレーム処理研修会」を開催。21名が参加し、元大阪府警刑事遠川覚氏を講師に「消費者からのクレーム処理について」研修しました。



●普及啓発

- 平成16年11月11日～13日、徳島市「アスティとくしま」で開催された徳島ビジネスチャレンジメッセ2004に出展、本協会と有機JAS制度関係のパネル、資料などを展示しました。
- 平成17年1月10日、徳島市「アスティとくしま」で開催された「新鮮なっ！とくしまフェア」に出展、有機JAS制度のパネル、本協会認証の有機農産物などを展示しました。
- 平成16年5月18日、JA徳島市で営農指導員等15名を対象に、有機JAS制度について説明しました。
- 平成16年10月5日、徳島県農業大学校でアグリテクノスクール受講生22名を対象に、有機JAS制度について講義しました。



有機認定者一覧

本協会は本年度、新たに9件の有機認定をしました。次の者が現在（平成17年3月31日）の認定者で、

- が本年度の認定者です。

■有機農産物

生産者名	栽培地	農産物名	認証年月日
天田善信	木屋平村	ゆず	14. 11. 28
美馬キウイ生産組合 (6名)	美馬町	キウイ	15. 2. 17
	半田町		
阪東農園	上勝町	すだち	15. 9. 12
		ゆず	
		ゆこう	
松家繁信	木屋平村	ゆず	15. 9. 12
西村利治	木屋平村	ゆず	15. 9. 12
休石竹良	木屋平村	ゆず	15. 9. 12
新居克之	那賀川町	黒米	15. 9. 19
●井上武夫	木屋平村	ゆず	16. 6. 15
●風尾新	木屋平村	ゆず	16. 6. 15
●中尾廣文	木屋平村	ゆず	16. 6. 15
●新田弘	木屋平村	ゆず	16. 6. 15
●若宮重利	木屋平村	ゆず	16. 6. 15
●久次米靖章	藍住町	かぶら、みぶな	16. 10. 26
●斉藤宣夫	藍住町	かぶら、みぶな	16. 10. 26
●佐藤浩史	藍住町	かぶら、みぶな	16. 10. 26
●横手忠男	藍住町	かぶら、みぶな	16. 10. 26

■有機農産物加工食品

生産者名	製造地	加工食品名	認証年月日
徳島精工(株)	吉野町	乾燥麺	15. 2. 12
		粉末乾燥麺	
		α化米	
(有)太閤酒造場	土成町	甘酒	15. 3. 31
阪東食品	上勝町	すだち酢	15. 9. 18
		ゆず酢	
		ゆこう酢	
野田ハニー食品工業(株)	鴨島町	ブルーベリージュース	15. 9. 18
		リンゴジュース	
		オレンジジュース	
J A 美馬	木屋平村	ゆず酢	15. 11. 10
かねきち産業(有)	勝浦町	ゆず酢	15. 11. 10
		ゆこう酢	

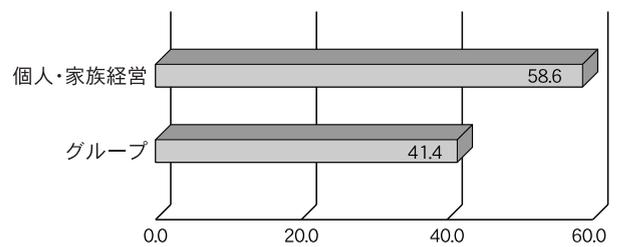
有機JAS制度見直しアンケート調査結果の概要

食料・農業・農村基本計画の見直し及びJAS法の改正に伴う有機JAS制度の見直しが行われるのに際し、国内有機農業の今後の展開において重要な要素となる国内有機農業の担い手である有機農産物生産行程管理者に、現行の有機JAS制度に対するアンケート調査が行われました。

このアンケート調査は、有機JAS見直しネットワーク世話人有志団体（有機JAS登録認定機関、流通団体、学識経験者等で構成）が本年2月に、国内で有機農産物の認定を行っている有機JAS登録認定機関54の内、協力が得られた26認定機関を通じて実施。この結果、495（個人農家290、グループ205（農家数では950戸（全体の20%）））の回答があった。調査結果の概要は次のとおりです。

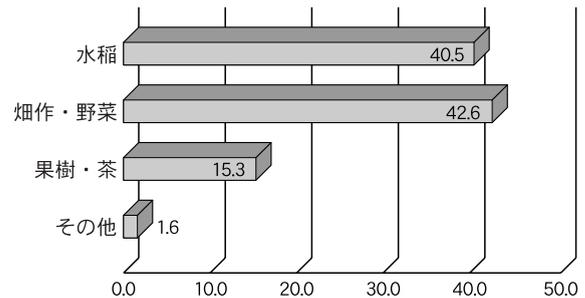
I 回答者の形態は、個人が6割、グループが4割

(単数回答)	実数	割合
個人・家族経営	290	58.6
グループ	205	41.4
回答者計	495	



II 栽培作物は、水稲4割、野菜4割

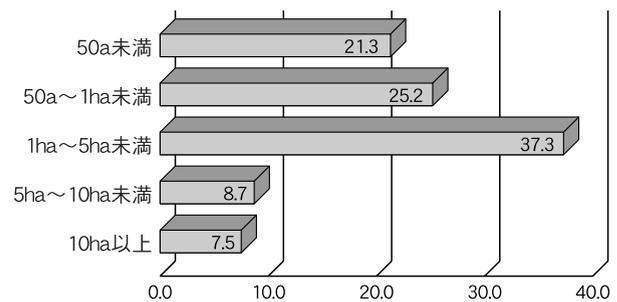
(単数回答)	実数	割合
水稲	209	40.5
畑作・野菜	220	42.6
果樹・茶	79	15.3
その他	8	1.6
回答者計	516	



III 栽培面積は、1ha～5haが4割弱で最多

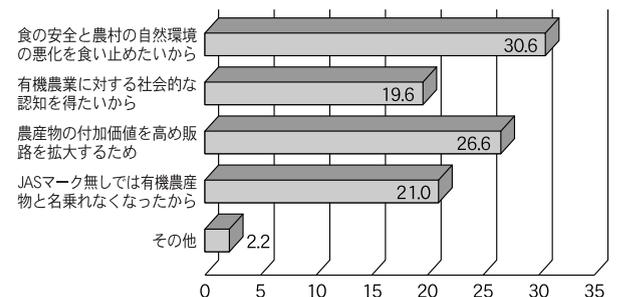
(面積については、上記1のように回答者にグループが4割あると言うのを含んで見る必要があります。)

(単数回答)	実数	割合
50a未満	105	21.3
50a～1ha未満	124	25.2
1ha～5ha未満	184	37.3
5ha～10ha未満	43	8.7
10ha以上	37	7.5
回答者計	493	



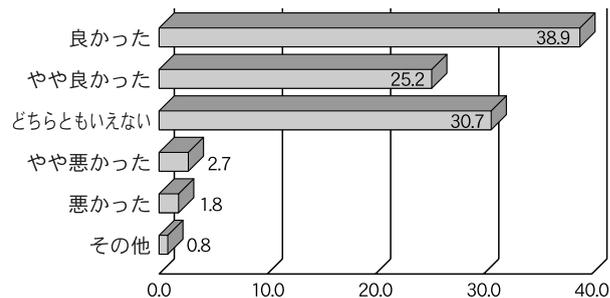
IV 有機JAS認定取得目的は、「食の安全」・「自然環境の保全」が3割で最多

(複数回答)	実数	割合
食の安全と農村の自然環境の悪化を食い止めたいから	291	30.6
有機農業に対する社会的な認知を得たいから	186	19.6
農産物の付加価値を高め販路を拡大するため	253	26.6
JASマーク無しでは有機農産物と名乗れなくなったから	200	21.0
その他	21	2.2
回答者計	951	



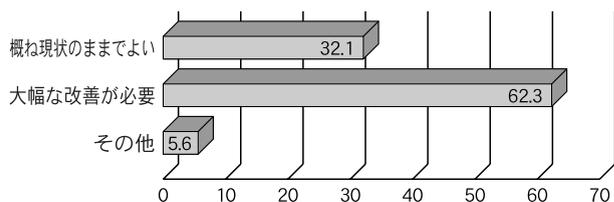
V 有機JASを取得しての感想は、「良かった」が38.9%、「悪かった」が1.8%

(単数回答)	実数	割合
良かった	190	38.9
やや良かった	123	25.2
どちらともいえない	150	30.7
やや悪かった	13	2.7
悪かった	9	1.8
その他	4	0.8
回答者計	489	



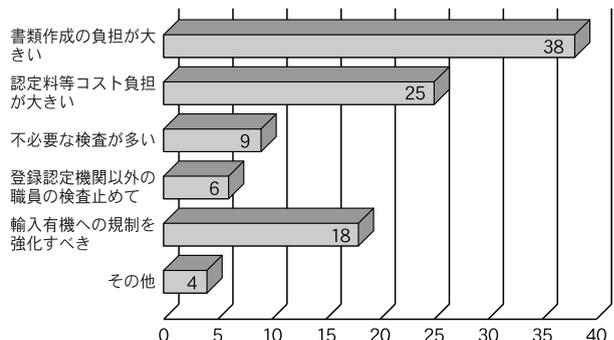
VI 6割強が有機JAS制度は「大幅な改善が必要」

(単数回答)	実数	割合
概ね現状のままでよい	150	32.1
大幅な改善が必要	291	62.3
その他	26	5.6
回答者計	467	



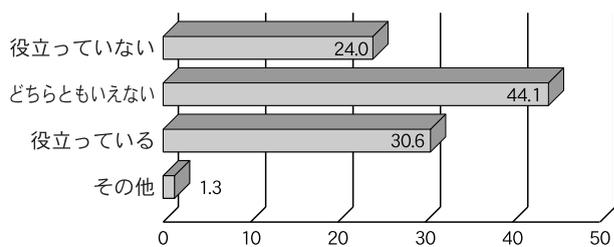
VII VIの改善点の内容は、「書類作成の負担」が4割弱で最多

(複数回答)	実数	割合
書類作成の負担が大きい	267	38
認定料等コスト負担が大きい	174	25
unnecessary 検査が多い	62	9
登録認定機関以外の職員の検査止めて	45	6
輸入有機への規制を強化すべき	124	18
その他	29	4
回答者計	701	



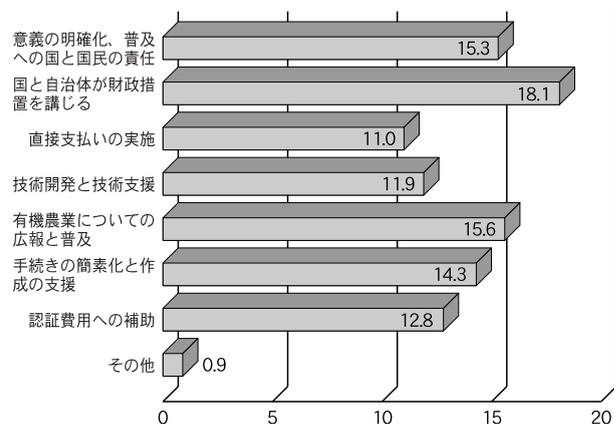
VIII 有機JAS制度は有機農業の推進に、「役立っている」が30.6%

(複数回答)	実数	割合
役立っていない	110	24.0
どちらともいえない	202	44.1
役立っている	140	30.6
その他	6	1.3
回答者計	458	



IX 有機農業推進法（仮称）に期待することは、多様

(複数回答)	実数	割合
意義の明確化、普及への国と国民の責任	239	15.3
国と自治体が財政措置を講じる	283	18.1
直接支払いの実施	173	11.0
技術開発と技術支援	187	11.9
有機農業についての広報と普及	245	15.6
手続きの簡素化と作成の支援	224	14.3
認証費用への補助	201	12.8
その他	14	0.9
回答者計	1566	



◇本協会会員◇

平成17年3月31日現在

個人会員

団体会員

天田善信	金谷和夫	徳島県農業協同組合中央会	光食品株式会社
北岡忠幸	●谷本林三郎	全国農業協同組合連合会徳島県本部	有限会社 かじもと農園
木内良太郎	●井上武夫	徳島市農業協同組合	有限会社 酒井農園
塩田勇	●風尾新	大津農業協同組合	徳島県農業会議
高尾茂	●中尾廣文	東とくしま農業協同組合	社会福祉法人 あゆみ園
長江太一	●新田弘	かいふ農業協同組合	かねきち産業有限会社
新居克之	●若宮重利	板野郡農業協同組合	阿南市農業協同組合
阪東農園	●西村利治	市場町農業協同組合	株式会社 谷食糧
福德丈士	●松家繁信	美馬農業協同組合	徳島精工株式会社
曲清春	●休石竹良	阿波みよし農業協同組合	有限会社 太閤酒造場
山上英吉	●久次米靖章	市岡製菓株式会社	野田ハニー食品工業株式会社
藤村和行	●斉藤宣夫	日新酒類株式会社	グランド印刷株式会社
阪東食品	●佐藤浩史		
田村好	●田中民夫		
大亀寿秀	●横手忠男		
福島俊晴	●松家安信		

●印は平成16年度に新しく会員になった方です。(順不同)

本協会の趣旨

徳島県内の有機農産物の生産者、流通業者及び加工業者に対して、JAS法に基づく、有機農産物及び有機農産物加工食品の認証活動などを行うことにより、環境にやさしい農業の発展に寄与することを目的とする。

本協会の主な事業

- ・ JAS法に基づく有機食品の認証事業
- ・ 有機食品認証制度に関する啓発普及事業
- ・ 有機食品流通促進のための情報交換の事業
- ・ その他目的を達成するために必要な事業

会員のメリット

- ・ 認定申請手数料の減免
- ・ 講習会、研修会、視察等参加費の減免
- ・ 広報誌への広告掲載
- ・ 生産者、消費者、流通業者、加工業者による情報交換会（商談会）の開催

年会費

個人会員 10,000円 団体会員 30,000円

◆◆◆◆◆お知らせ◆◆◆◆◆

〈有機農産物生産行程管理者等講習会の開催計画〉

本協会に認定申請をする「有機農産物生産行程管理者」、「有機農産物加工食品製造業者」、「有機農産物及び有機農産物加工食品の小分け業者」は、本協会もしくは（社）日本農林規格協会が行う「有機農産物生産行程管理者等講習会」と「有機農産物等格付担当者講習会」を受講・修了する義務があります。

「有機農産物生産行程管理者等講習会」については本年6月か7月に開催する計画です。場所は徳島市内で、時間は半日程度です。受講料は、本協会会員は無料、一般の方は2,000円です。具体的日程等が決まり次第、広くご案内します。また、「有機農産物等格付担当者講習会」についても同日に開く計画です。

なお、これらの講習会の受講・修了は、認定後1年以内の受講・修了も認められております。

〈申請書の配付〉

◎「有機認定申請書」は、本協会の事務所で直接、又は郵送で配付します。

○事務所での配付は、土・日曜日、祝祭日、年末年始以外の午前8時半～午後5時までの間に行います。

○郵送をご希望の方は、240円切手を貼った返信用封筒(角型2号)を同封の上、郵送でお申し込みください。

○申請書は、フロッピーディスク（一太郎、ワード）で配付することも可能です。

事務所案内図



◆◆◆◆◆編集後記◆◆◆◆◆

有機JASの認定を受けた農家や製造業者の多くは、販売価格のアップを期待されていたと思います。が、しかし実際には期待したような販売価格にはならず、煩わしい書類の作成と手数料だけが残ったように思います。

この度、有機JAS制度が見直されようとしています。我々有機JAS制度に携わる者として、出来る限り多くの農家や製造業者に有機JASの認定を受けて頂くとともに、同認定を継続して頂けるように煩わしい書類の簡素化を働きかけていきたいと思っております。

本協会事務局・本誌編集担当 難波 力